

科目番号	52014	分類	助産診断技術学	履修者	高度実践助産コース	学年		
科目名	新生児期診断・技術学 (Newborn Care)					1		
						配当セメスター		
						前期		
担当者	○橋本 美幸、加部 一彦、 藤田恵理子	区分	助産師免許取得プログラム	必修	単位	2	時間数	30
授業の概要および目標						学位授与の方針との関連		
【概要】 新生児の生理的特徴、胎外生活への適応、成長・発達ヘルスアセスメント及びケアに必要な知識・技術・態度を学習する。また、乳幼児期の発育・発達と保健相談について学習する。						○	1.自律して自然分娩の支援ができる能力	
【目標】 1. 新生児の生理的特徴を理解する。 2. 新生児の胎外生活への適応を理解する。 3. 新生児のフィジカルアセスメントができる。 4. 新生児の出生直後から1か月健診までに必要なケア技術を習得する。 5. 乳幼児の発育と生理・運動・精神的機能の発達を理解する。 6. 乳幼児の発育発達に関連した保健相談が理解できる。						○	2.院内・院外助産システムを担うことができる能力	
						○	3.女性の生涯にわたる健康を支援できる能力	
						○	4.周産期の救急時に対応できる能力	
							5.他職種と連携・協働し、質の高い助産ケアを提供できる能力	
							6.研究・開発能力	
						○	7.倫理的意思決定能力	
授 業 計 画								
回	内 容						担当教員	
1回	新生児学総論						加部	
2回	新生児の体温、栄養							
3回	新生児の水と電解質、黄疸							
4回	新生児の血液、感染症と免疫							
5回	新生児の呼吸、循環							
6回	乳幼児の発育 生理機能の発達							
7回	乳幼児の運動機能の発達							
8回	乳幼児の精神機能の発達							
9回	乳幼児の事故 母子保健の課題							
10回	胎児の well-being と出生直後の新生児の助産診断 新生児期の助産診断(1)						橋本	
11~12回	出生直後の新生児の観察とケア 早期新生児期の新生児の経日変化とケア						藤田	
13回	新生児の観察、フィジカルアセスメント、計測、(演習)						橋本	
14回	新生児期の助産診断(2)						橋本	
15回	新生児の異常とケア						藤田	
事前・事後学習	事前学習：各回の必携図書で該当する部分を読んでくる。 事後学習：配布資料を復習する。また、場合によってはレポートを課す。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に組み込むこと。							
評価の方法	筆記テスト 70%、新生児の計測、診察技術の実技テスト 30% フィードバックは適宜行う。							
参考図書・資料等	◎新生児学入門 第四版 仁志田 博司著 医学書院 ◎助産学講座 8 助産診断技術学Ⅱ 〔3〕新生児期・乳幼児期 横尾恭子他 第5版 2013年 ◎目で見る妊娠と出産；馬場一憲、文光堂、2013 ◎は授業の必携図書ですので、購入していただきます。							
備考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。							